



1 チャレンジ授業

2学期に入り、いよいよチャレンジ授業がスタートしました。

チャレンジ授業は、従来の“出前授業”の逆バージョン！児童が中学部の教室に出向いて受ける新バージョンです。小中一貫教育の取組としては、斬新なアイデアであると言えます。

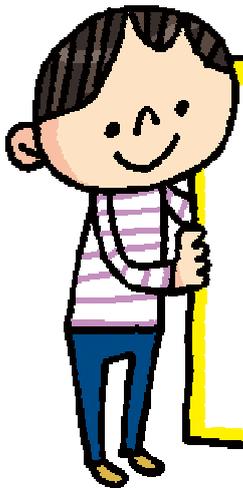
このチャレンジ授業では、児童が中学部の教室に実際に出向くことで、「やがて中学生になんだ！」という意識をより強く持たせることが期待できます。

また、穂波東校では、小学部の担任が事前指導を行っていることから、その効果は更に高まっています。

小学部で取り組まれた事前指導の内容（一例）

- 中学部の 50 分の授業でも、集中が途切れないように頑張ろう。
- 中学部の授業では、ノートを早く書けることも必要になってくるので、意識しよう。
- チャレンジ授業を通して、専門性の高い教科の学習を経験し、中学生になるための準備をしよう。
- チャレンジ授業は移動して授業を受けるけど、時間に遅れないようにしよう。

そして、チャレンジ授業を受けた児童からは、その良さを認める感想が出ています。



チャレンジ授業を受けた児童の感想（一例）

- 音楽の授業を松尾先生にしてもらって、歌のうたい方が変わって、歌がうたいやすくなりました。だから、元々苦手だった歌が好きになりました。
- 理科は実験だけでなく、実験に使う物の説明までしてくれて、分かりやすかったです。中学校に入っても忘れずに話をちゃんと聞いて、小学校より聞く態度を良くして学んでいきます。
- （チャレンジ授業を通して）中学校に入るのが楽しみになりました。



今後も色々な教科でチャレンジ授業を展開したいと思いますので、先生方のご協力をお願いします。



チャレンジ授業：音楽



チャレンジ授業：理科

2 小中合同生徒指導委員会

先日、中学部の仲上先生が職朝でお知らせしましたので、繰り返しは致しませんが、その内容が議事録としてまとめられ、掲示板上に掲載されていますので、ご一読をお願いします。

その中にも書かれていますが、小学部の運動会準備に中学部の部活生が協力します。小学部の先生方のお役に立てることで、自己有用感の向上や、共助の意識の醸成につながることを期待しています。